

DI 委員会トピックス

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 治療剤 エクリラ®400 μ g ジェヌエア®30 吸入用

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は、タバコ煙を主とする有害物質を長期に暴露することで生じる肺の炎症性疾患であり、進行性の気流閉塞を呈し、症状として労作時の息切れと慢性の咳、痰を特徴とするが、これらの症状に乏しいこともある。COPD患者において、労作時呼吸困難の原因となる基本的病態は、気流閉塞と動的肺過膨張である。肺高血圧症の併存も労作時心拍出量の制限により、労作時呼吸困難に関与し得る。これらの病態は患者の症状と重症度を規定する因子であり、その軽減が重要な治療目標になる。

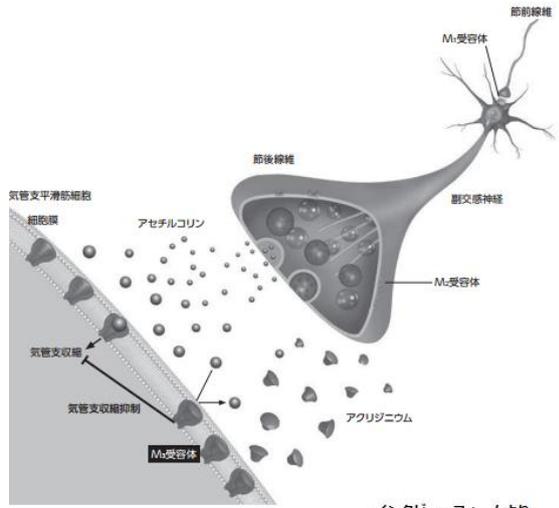
近年、国内においても患者数の増加が指摘されており、推定される患者数は 500 万人以上といわれ、年間16,000 人以上が死亡し日本人の死因で第9 位に位置している。今後も患者数の増加が予測されることから、厚生労働省が取り組む「健康日本21」の中でも、その対応は重要な課題とされている。

今回、杏林製薬から発売されるエクリラ®400 μ g ジェヌエア®30吸入用(アクリジニウム臭化物)は、ムスカリン受容体M3サブタイプに対し高い親和性を有する拮抗薬である。アクリジニウム臭化物は、吸入投与により肺に直接到達し、気道平滑筋のムスカリン受容体M3サブタイプ に競合的に結合することで、気道収縮を抑制し、呼吸機能を改善する。肺から吸収された後は、非酵素的または血漿中のエステラーゼにより、薬理学的に不活性な代謝物に速やかに加水分解される。

以下、エクリラ®400 μ g ジェヌエア®30吸入用のDI情報を紹介する。(新薬のため14日分投与であるが、1日2回30吸入で15日分使用可能。厚生労働省承認)

《DI 情報》

薬剤名	エクリラ®400 μ g ジェヌエア®30 吸入用
効能・効果	慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解
特徴	1日2回投与で終日呼吸機能を改善し、血中で活性のない代謝物に速やかに分解される。 国内で実施された臨床試験結果によると、副作用発現率は9.0%（40/442例）であった。 また、ジェヌエア®（吸入器）は、操作が簡単で、音と信号により正しく吸入できたことを確認できる、新規ドライパウダー吸入器である。
用法・用量	通常、成人には1回1吸入（アクリジニウム臭化物として400 μ g）を1日2回吸入投与する。

<p>作用機序</p>	 <p>副交感神経節後線維末端から放出されたアセチルコリンが気道平滑筋上のムスカリン受容体を活性化し、気道を収縮させる。ムスカリン受容体のサブタイプのうち、主に気道収縮に関与しているのはM3受容体である。アクリジニウム臭化物は抗コリン薬であり、吸入投与により作用部位である肺に直接到達し、気道平滑筋のM3受容体に結合することによってアセチルコリンによる収縮効果を抑制する。</p>
<p>主な副作用</p>	<p>不整脈、めまい、血中クレアチンホスホキナーゼ増加、尿中ブドウ糖陽性 等 (但し、国内で実施された臨床試験結果による)</p>
<p>禁忌</p>	<p>(1) 閉塞隅角緑内障の患者 (2) 前立腺肥大等による排尿障害がある患者 (3) 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者</p>
<p>薬価</p>	<p>エクリラ®400μgジェヌエア®30吸入用 3,150.90 円 (30 吸入 1 キット)</p>
<p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エクリラ®400μg ジェヌエア®30 吸入用インタビューフォーム ・ SpiNet.jp COPD 総合情報サイト : http://www.spinet.jp/top.html 	